

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹後市

2. 平成25年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

支援区分	事業名・実施項目		
行財政改革推進枠	学校再配置推進事業		
事業着手前			
課題・現状	本市では学校規模に応じた創意工夫や努力を積み重ね、特色ある教育活動に取り組んでいるが、予想を上回る急速な少子化は、本市においても例外的なものではなく、児童・生徒数の減少による小中学校の小規模校化が顕著になっていることから、次代を担う子どもたちの健やかな成長にとって望ましい教育環境を整えていく必要がある。		
事業概要	<p>「学校再配置基本計画」を円滑に推進するため、学校づくり準備協議会を設置し、具体的な調査研究を行うとともに、新しい学校の開校に向けた取り組みを進める。</p> <p>また、開・閉校式の実施、閉校後の施設の利活用を検討するとともに、閉校に伴う旧校区での取り組みを支援する。</p> <p>平成26年度再配置へ向けた準備協議会 ○網野南小・郷小学校づくり準備協議会○溝谷小・鳥取小・黒部小・野間小学校づくり準備協議会○川上小・海部小・佐濃小学校づくり準備協議会○間人中学校・宇川中学校の新中学校準備協議会</p>		
期待される事業効果等	学校再配置基本計画に基づく適正規模での小学校運営により、将来に渡る維持管理経費の抑制が期待できる。		
事業実績			
取組状況	・調査研究、式典関係、開校準備、交流学习等 平成25年度閉校 網野南小、郷小、溝谷小、鳥取小、黒部小、野間小、川上小、海部小、佐濃小、間人中、宇川中		
主な実績数値 (出来高数値等)	「学校再配置基本計画」に伴う学校統廃合による閉校式典や開校にむけて準備等を行った。 式典関連経費 1,102千円 開校準備経費 11,979千円		
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	統廃合を行い、経常経費を抑制することができたため。

行革効果

行革効果の考え方	■ 学校再配置による行革効果は以下のとおり									
	小・中学校					物件費	備考			
	網野南小学校運営経費					14,739				
	郷小学校運営経費					9,176				
	鳥取小学校運営経費					20,405				
	溝谷小学校運営経費					15,350				
	黒部小学校運営経費					13,077				
	野間小学校運営経費					11,318				
	海部小学校運営経費					14,553				
	川上小学校運営経費					14,779				
	佐濃小学校運営経費					16,320				
	間人中学校運営経費					19,436				
	宇川中学校運営経費					15,580				
	再配置前合計					164,733				
	(網野南・郷)小学校運営経費					18,760		平成26年4月再配置		
(鳥取・溝谷・黒部・野間)小学校運営経費					28,904		平成26年4月再配置			
(海部・川上・佐濃)小学校運営経費					21,275		平成26年4月再配置			
(間人・宇川)中学校運営経費					22,887		平成26年4月再配置			
再配置後合計					91,826					
行革効果額					72,907					

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度				
行革前(a)	-	164,733	164,733	164,733	164,733				
行革後(b)	-	91,826	91,826	91,826	91,826				
行革効果(a)-(b)	0	72,907	72,907	72,907	72,907				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。